

日時: 8月10日(金) 天候: 晴れ 天理高校 対 東京都立立川高校
 球場: 明治神宮野球場 第1試合 1回戦 試合時間: 1時間47分 備考: 6回コールド
 審判: 球審:宇田川 塁審:高橋広、福田、宗像

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
天理	近畿・奈良	2	0	3	1	3	3										12	7	0
立川	東京2	0	0	0	0	1	0										1	3	4

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	右		窪田 倫久	4	1	0	0	三振	一ゴ		一ゴ	左飛	四球							
2	二		横山 翔	2	1	0	0	四球	三振		投ゴ									
2	打		岡村 亮太	1	0	0	0					二ゴ								
2	二		山田 大貴	1	0	1	2													
3	捕		本田 雄一郎	2	4	1	3	四球		四球	四球	左中	中飛							
4	左		鈴木 克幸	3	1	1	2	遊飛		中失	四球	中3								
5	遊		名須 和成	2	0	0	0	四球		三ゴ	四球	投飛								
6	三		加藤 健一	1	2	1	2	四球		左安	四球		死球							
7	一		藤原 元気	4	0	0	0	打妨		三振	投ゴ		捕飛							
8	投		本間 義康	3	2	2	2			中2		四球	右2							
9	中		本多 幸広	4	1	1	1		三振	三振		中安	捕邪							
合計				27	12	7	12	残塁:9 併殺:0												
				備考																

バッテリー

投手
本間 義康

捕手
本田 雄一郎

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
本間 義康	6	23	3	8	4	1

立川		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二遊		青江 裕	3	0	2	1	二安		遊ゴ		遊安								
2	捕		鈴木 啓太	3	0	0	0	中飛			三ゴ	二ゴ								
3	遊	二	光武 脩之輔	3	0	0	0	三振			三振		三ゴ							
4	投		菅野 恭兵	2	0	0	0		四球		投飛		三振							
5	中		植村 真次	0	1	0	0		四球											
5		右	青木 純	1	0	0	0					四球	右飛							
6	左		天野 裕一	1	0	0	0		三振			四球								
7	右	中	森川 玲人	2	0	0	0		三振			三振								
8	一		大蔵 勇哉	2	0	0	0			三振		三振								
9	三		佐藤 亮輔	2	0	1	0			捕邪		中安								
合計				19	1	3	1	残塁:4 併殺:0												
				備考																

バッテリー

投手
菅野 恭兵

捕手
鈴木 啓太

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
菅野 恭兵	6	39	7	6	12	12

戦評

大会初日、開会式後神宮球場の第1試合は、22年連続出場を誇る奈良・天理と、東京第2代表の立川との対戦。立川のエース菅野は左の本格派。力のある速球で先頭打者を見事に三振に斬ってとるものの、その後制球に苦しみ連続四球。そこに見方の失策が重なり苦しい立ち上がりとなった。天理は相手のミスに乗じてそつなく2得点。立川が守備の安定を欠くのに対し、天理は全国大会常連校らしく、落ち着いた安定感のある守備を見せる。立川は内野安打、四球でせっかく出た走者も、天理の捕手本田の強肩の前に牽制刺殺にあい、二塁を踏むことができない。その後天理は着実に得点を重ね、本田のランニング本塁打もあって6回までに12点をあげる。一方立川は5回に青木、天野が四球を連続して選ぶと佐藤、青江の連打で1点を返し、一矢を報いた。しかし後続なく、自力に勝る天理が、立川に付け入る隙を与えず6回コールドゲームで圧勝した。